

第22回全国女性消防団員活性化北海道大会が開催されました

第22回全国女性消防団員活性化北海道大会が、平成28年6月3日（金）さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）および札幌市教育文化会館で、「今こそ女性のチカラ！～広がれ女性消防団 北の大地から！！～」をテーマに、全国から約3,500人が参加して開催されました。

活性化大会は、全国の女性消防団員が一同に集い、日頃の消防活動や先進的な取り組みについてアピールするとともに、意見交換や交流を通じて連携を深める事により、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的とし、総務省消防庁、公益財団法人 日本消防協会、第22回全国女性消防団員活性化北海道大会実行委員会（公益財団法人 北海道消防協会）が主催、北海道と札幌市が共催して開催されました。

開会式では、佐々木敦朗消防庁長官、秋本敏文日本消防協会会長の挨拶、開催地の高橋はるみ北海道知事、秋元克広札幌市長、東田慎悟北海道大会実行委員会委員長の挨拶の後に続いて、南相馬市消防団（福島県）および福島市消防団、札幌市北消防団、熊谷市消防団（埼玉県）、四日市市消防団（三重県）4組の活動事例発表および海外女性消防団の紹介が、赤羽消防団（東京都）よりありました。

また、熊本県消防協会会長および県下女性消防団員の皆様が、大変な思いをされた中、被害状況や団員の活動状況などを伝えに、急遽お集まりくださいました。今現在も続いている救助活動や撤去作業および支援活動の報告に、大会に参加された消防団員全員が息をのんで聞き入っていました。

記念講演は、一時廃園の危機に陥った動物園の再生に尽力され、全国的にも注目を浴びている坂東元旭山動物園園長が「伝えるのは、命」と題して講演されました。

午後の部では、音更町消防団（北海道）および草津市消防団（滋賀県）2組の火災予防啓発劇、さらに、鳥取市消防団、弟子屈消防団（北海道）、善通寺市消防団（香川県）、西都市消防団（宮崎県）の4組の仮装でアクションPRの発表がありました。

その後、長野オリンピックメダリストの岡崎朋美さんの『どこまでも「挑戦」』と題した特別講演があり後半は消防団員とのトークがありました。

閉会式では大会宣言が朗読され、満場の拍手で承認されました。続いて、札幌市西消防団よりお礼の言葉の後「大会旗」が東田慎悟北海道消防協会長から、秋本敏文日本消防協会長に、そして次期開催地の西田正博広島県消防協会長に引き継がれ、西田会長の挨拶の後、札幌市東消防団の閉会宣言により大会は締めくくられました。

情報交流会は、ホテル・ロイトン札幌へ場所を移し、札幌ジュニアジャズスクールによるオープニング演奏に始まり、秋本敏文日本消防協会長および高橋はるみ北海道知事の挨拶の後、鏡開きが行われ、栗田けんじさん、アイヌアートプロジェクトによる歌の披露や平岸天神よさこい演舞が披露がされました。

滋賀県からは、植田消防協会長をはじめ、7消防団の女性消防団員や団長等、約50名が参加し、活動事例発表や火災予防啓発劇など他の消防団の取り組み事例等を熱心に学ぶと共に、全国各地の女性団員との交流を深めました。



開会式・大会旗入場



佐々木敦朗消防長官挨拶



秋本敏文日本消防協会会長挨拶



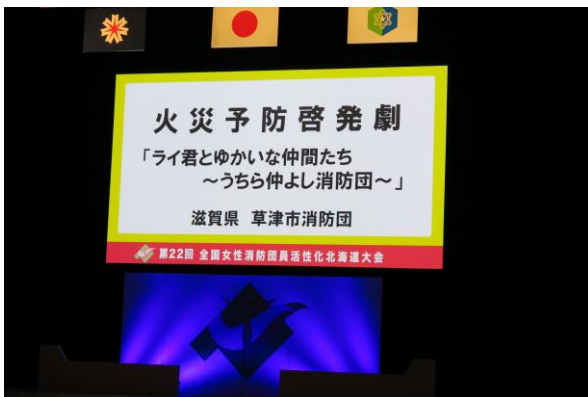
熊本県消防協会による災害報告



熊本県下消防団活動状況



坂東元旭山動物園園長



草津市消防団火災予防啓発劇





音更町消防団（北海道）火災予防啓発劇



鳥取市消防団仮装でアクションPR



善通寺市消防団（香川県）



岡崎朋美さんと消防団とのトーク



次期開催地広島県消防協会長挨拶等



守山市消防団PR展示



野洲市消防団PR展示